



住友大阪セメント

TAKUMA

Iwatani



地図に残る仕事。®

大成建設

2026年 9 月 17 日

住友大阪セメント株式会社

株式会社タクマ

岩谷産業株式会社

株式会社オムニア・コンチェルト

大成建設株式会社

東京都「令和 8 年度 CO₂ サプライチェーン構築に係る 実現可能性調査 (FS 事業)」に採択 ～清掃工場を起点とした都市型 CO₂ サプライチェーンの構築を目指す～

住友大阪セメント株式会社(本社：東京都港区、社長：諸橋央典)を代表事業者とし、株式会社タクマ(本社：兵庫県尼崎市、社長：濱田州朗)、岩谷産業株式会社(本社：大阪府大阪市・東京都港区、社長：間島寛)、株式会社オムニア・コンチェルト(本社：東京都港区、社長：藤原慶太)、大成建設株式会社(本社：東京都新宿区、社長：相川善郎)の 5 社で構成するコンソーシアムから東京都に提案した「CO₂ サプライチェーン構築による持続可能な産業創出プロジェクト」が、東京都「令和 8 年度 CO₂ サプライチェーン構築に係る実現可能性調査 (FS 事業)」に採択されました。本事業では東京都内の清掃工場等から排出される CO₂ の回収・利活用モデルの実現可能性を調査します。

1. 背景

東京都は、2050 年ゼロエミッション東京の実現に向けて、CO₂ の排出が避けられない施設からの CO₂ の回収・利活用に係るサプライチェーンの構築を推進しています。そのため、産業間連携による新たな CO₂ サプライチェーンの構築可能性や社会実装への道筋、将来的な CO₂ 削減効果などの実現可能性調査 (FS) を行う目的で公募が実施されました。

2. 事業概要

本コンソーシアムでは、各社の専門技術を結集し、東京都内の清掃工場等から排出される CO₂ の回収・前処理・輸送・利活用までを一体化した都市型カーボンリサイクルモデルの実現可能性を検証します。

<採択テーマ>

都指定施設（清掃工場）を排出源とした CO₂ の回収・利活用モデルの実現可能性調査

<本事業の概要>

人工石灰石ルート、高純度 CO₂ ルート、バイオルートの 3 つを中心に、CO₂ 回収・輸送・利活用の社会実装モデルを検討します。

**検討対象となる清掃工場から回収した CO₂ の利活用ルート****人工石灰石ルート**

CO₂ 再資源化人工石灰石の製造・利用を中核に据え、CO₂ を鉱物固定化し、コンクリート、紙、樹脂、ゴム、塗料など多様な製品へ展開することで、長期的な CO₂ 固定と資源循環を実現する。

高純度 CO₂ ルート

CO₂ を高純度化した上で液化・輸送し、炭酸飲料、ドライアイス、産業用途、建設材料分野などへ供給する可能性を検証する。都市インフラから発生する CO₂ を産業利用へつなげる新たな循環モデルの確立を目指す。

バイオルート

回収した CO₂ を無花粉スギ・少花粉スギや早生樹の育苗促進、藻類培養等に活用する。森林資源の循環利用やブルーカーボン創出への展開も視野に入れる。

<調査期間>

2026～2027 年度に技術性・経済性・LCA・制度面の評価を実施します。

<参画企業の主な役割>

住友大阪セメント（代表事業者）、タクマ（CO₂ 回収）、岩谷産業（輸送・供給）、オムニア・コンチェルト（バイオ利用）、大成建設（建設利用・社会実装）

<期待される効果>

CO₂ の資源化、低炭素建設材料の普及、資源循環モデルの確立、他自治体への横展開を目指します。

3. 代表事業者コメント

清掃工場を起点とした CO₂ サプライチェーンの構築により、脱炭素化と資源循環を同時に実現する東京都モデルの創出を目指します。

これらの取り組みを通じて、これまで都市部で排出されていた CO₂ を資源として有効活用するとともに、CO₂ を利用した低炭素建設材料の普及や資源循環の促進を図ります。さらに、本事業で得られた知見を基に、東京都内での社会実装に加え、他自治体への展開も視野に入れ、取り組んでまいります。